

最終レポート

テ・テ・スエ（ミャンマー）

原文は英語

私は、2016年7月15日に関西空港に到着し、岡山県庁の手配した旅行代理店スタッフの女性のサポートを受けて、大阪から岡山市までバスに乗って来ました。移動中、山の中に作られた長いトンネルをいくつも通るのでとても驚き、日本の技術力に感銘を覚えました。高速道路にこのような長いトンネルを建設する技術者たちはとても優れています。バス乗降場に着いたとき、私は、NPOの岡田先生、県の片岡さんや岡山県国際交流協会(OPIEF)の野本さん、岡崎さんの歓迎を受けました。

それから岡山国際交流センター(OIC)に行き、職員の方々に会いました。最後に、私はNPOの宿舎に車で移動しました。私のオリエンテーションの日程は、野本さんと岡崎さんの監修によるものでした。お二人にはとても感謝しています。ほとんどすべての行事はOPIEFの支援によって実施されました。

私の日本の第一印象は、清潔さです。家の外でゴミが落ちているのをほとんど見たことがありませんでしたし、海辺もとてもきれいでした。日本は、海に囲まれた美しい国ですが、山地の占める面積が非常に大きい国です。気候はとても良かったです。マダレーの気候と似ていたので、私は日本の夏が好きでした。

最初は、私は日本食に慣れていませんでしたが、後になって好きになりました。私がいちばん好きな日本食はてんぷらで、汁物ではみそ汁です。麺類では、ラーメンが最も好きです。また、ぶどうのピオーネや桃も大好物になりました。

日本では公共交通機関がとても快適で安全です。バスは時刻通りに運行されますし、交通信号があちこちに設けられており、人々は厳格に信号を守っています。交通規則を守る日本人に心から敬意を表します。私の滞在中、大きな道路で交通事故を見かけたことは一度もありません。人々は自転車で楽しそうに移動していました。女性も安全に夜間に外出することができます。つまり、日本では女性の安全が守られているのです。日本人は礼儀正しくて親切でした。

日本について書くべきことはたくさんあります。水道水を安全に飲むことができたのはとても驚きました。ほとんどの食料品店は清潔でした。ゴミの廃棄システムもとても素晴らしいです。生ごみは週2回廃棄することができます。私の母国ミャンマーにこのシステムが適用されることが可能でしょうか。電力も24時間供給されます。日本滞在中、一度も停電に会うことはありませんでした。

OPIEF の支援により、岡山県内の興味深い場所に行くことができました。近辺の場所をいろいろ訪ねたことは楽しい思い出です。(桃太郎まつりの)花火大会は私の人生で忘れられない経験です。日本の素晴らしいお祭りで、その光景はとても美しく、わくわくさせられました。日本の最も古くて素晴らしい民間の美術館である大原美術館にも行きました。見学して、芸術の美を感じることができました。

日本の地理的な事柄も学ぶことができました。旭川の源流を訪ねたときは驚きました。直接、その水を飲むことができたのです。「自然は驚き」という言葉は、本当のことでした。

湯原温泉にも行きました。温泉の足湯を体験できて良かったです。生まれて初めての体験でした。私たちが多くの場所に行けるよう、OPIEF が考えてくれたプログラムに感謝しています。蒜山への視察研修はとても素晴らしかったです。

料理講座のプログラムもとても面白かったです。岡山国際交流センターの中で、異なる国の料理の知識を得ることができるのです。国際交流センターは、職員が英語を話せるので外国人が助かる施設です。岡山市では、行政がとても組織的に確立されていました。ミャンマーでも、行政に日本スタイルを取り入れるべきだと感じました。

日本は貧しい国々と知識をシェアしようとしてくれているので、私は日本が好きです。日本人は、長いパンツやスカートを礼儀正しく着用します。服装マナーを守る日本人に心を打たれました。

さらに、日本人は日本文化を大切にしています。

学校へ通う子どもはスポーツをしなればなりません。大学生もスポーツをしなればなりません。このことは健康な体をつくる最良の方法であり、自分に自信をつけさせることができます。私は、多くの高齢者の方々が、中年の人たちと同じようなことができるのを見ました。きっとその人たちは健康に気をつけていて、日本の健康管理システムがとても良いのだと思います。ですから、65 歳を過ぎても多くの人が働くことができるのです。

私は、日本の岡山大学病院の乳腺・内分泌外科で充実した研修を受けました。病院がとても大きいので、私は、手術室や会議室、病棟に行くのに道をよく迷いました。1 週間のオリエンテーションを受講する間、乳腺外科の先生たちが毎日私を助けてくれました。1 週間の間、毎朝、病院の 1 階にあるスターバックスコーヒーの前で私を待って、出迎えてくれました。

どの部屋も電子的に安全が守られており、入室時はカードキーを使ってロックを外さなければなりません。安全体制は万全でした。最初、同じ階に 15 もの手術室があるのを見た時は驚きました。進歩した技術により設備が整っていました。このことについては、いくら書いても書ききれません。

患者の看護システムも見事です。手術が始まる前に、看護師は患者が本人であることを確認します。手術チームの全員が揃った後、手術が始まる前に患者を安心させます。手術の間中ずっと苦痛がないように、患者に処置を施します。この病院で外科手術を受けられる患者は本当に幸せだと思いました。

初めの 2, 3 週間、私は手術室で見学者として見ていなければなりません。その後、私は手術の補助をする機会を得ました。そして、私の研修期間が終わりに近づく頃、私は、指導医の監督のもとで手術を行うことができました。病院のすべての指導医と先生の皆様にお礼を申し上げます。

外科手術で使う器具は、シンプルですがとても役に立つように考えられています。乳房全摘出切除の手術に要する時間は 1 時間未満でした。マンダレーでは、もっと時間がかかります。なぜなら、ヘルニア創傷開創器 (hernia retractors) や皮膚開創鉤 (skin hooks) といった器具は様々なサイズのものが不足しているからです。

コヴィディエン社のジアテルミー透熱療法装置 (Covidien diathermy machines) や結紮系 (ligature) は高価ですが、とても短時間で使えます。機械や器具のほとんどがアメリカ製ですが、それらの品質の良さは疑う余地がありません。健康管理は高度に標準化されていることがわかりました。病院の医療機器安全管理室でこれらの機械や器具類のメンテナンスを行っています。

多くの外科手術が小さな皮膚切開によって行われます。脇の下のリンパ節の検査はガンマ線プローブを用いて迅速に行われますが、この機械はとても高価です。この病院では冷凍された検体を使えるので、センチネルリンパ節の生検がほとんどの場合行われます。

乳房再建は形成外科チームによって毎週行われています。乳房移植 (implant) も行われています。これらの手術はとても高価です。

私は、大きな手術用顕微鏡が乳房再建手術で使われているのを見学しました。再建手術の中には、9 時間以上もかかるものもありました。手術にかかる時間は、外科処置の手順に関係があります。

乳がんになった女性患者は、再建術によって新しい乳房を得ることにより、乳房を失った後も心理的に動揺しないでいられるでしょう。がん手術の後患者の身体の姿が変わらないでいられるのは、現代の技術の発展の恩恵によるものです。

外科医のほとんどが激務をこなし、時には昼食抜きで仕事をしていました。

首の外科的処置は素晴らしいものでした。首の手術の補助をしなければならないことがありましたが、いくつかの手術は3時間以上かかりました。

岡山大学病院の先生方には大変多くのことを教えていただきました。新しい外科の技術と知識を学ぶことができ、価値のある研修になりました。これらの知識を、私はマンダレーの同僚たちに伝えたいと思います。

ミャンマーに帰ったら、まず、乳房温存手術を始めたいと思います。ミャンマーで標準的な治療にしたいと思います。

(特活)日本・ミャンマー医療人育成支援協会、岡山県庁、OPIEF、私の指導担当の先生方、乳腺・内分泌外科と形成外科のすべての皆様、そしてすべての日本の方々に心から感謝申し上げます。